

1 部門目標

- (1) 病院機能の強化
- (2) 施設環境の改善
- (3) 収支の改善（経費節減の徹底）

2 業務体制・スタッフ

事務長	— 事務長補佐	総務班	5名	人事・給与、文書、経理、福利厚生等
		管理班	6名	建物・設備、防災・防犯、調達等
	— 医事室長	医事班	8名	診療報酬、施設基準、診療録管理、 病院情報システム、医事統計等
		夜急診班	3名	夜間応急診療等

（計25名）

3 業務実績

(1) 病院機能の強化

・周産期医療の充実

当院は、平成22年5月に千葉県より地域周産期母子医療センターとして認定をされており、特に出生体重1,000g未満の低出生体重児の管理を行える県の周産期の拠点である。

NICU（新生児集中治療室）は常に満床状態であり、リスクの高い妊産婦や新生児への対応の強化を図るため、29年10月よりNICU15床を21床に増床した。

・小児医療の充実

当院は、地域小児科センターとして、救急疾患から小児一般診療、小児の専門治療まで幅広い診療の提供を行っており、29年度から、外科系診療科を充実させ、外科系小児の入院患者の受入れを開始した。

・高齢者医療の充実

地元美浜区、近隣の花見川区を中心とした住民ニーズである高齢者の救急医療やプライマリケアを行い、地域医療を充実させるために、形成外科、泌尿器科の手術を29年度から開始した。

また泌尿器科は29年10月より専門医2人体制とした。

(2) 施設環境の改善

・患者の利便性・サービス向上

入院受付のレイアウト変更、正面玄関の雨天時すべり止め対策、3階浴室のシャワー浴室への改修、和式便器から洋式へのトイレ改修、病棟内装（壁紙等）改修、幹部職員による1階ロビーでの患者・家族への案内、環境音楽の館内放送を実施した。

- ・開院後33年を経過し、給排水設備、電気設備、空調設備の劣化・老朽化が著しいことから、大規模な改修が必要な状態となっている。

毎年度、計画的に改修工事を実施しており、老朽化した受水槽の改修工事を実施した。また、28年度からの継続工事で厨房の冷暖房設備工事を実施した。

(3) 収支の改善（経費節減の徹底）

- ・経営改善支援業務委託の実施

経営改善に向けた取組みを推進するため、専門的な知識や実績を有する事業者へ委託を実施し、医療材料（診療材料、薬品）、委託費の削減を実施した。 契約日 29年6月1日

- ・支出抑制（委託費の削減）

機器等の保守点検業務等において、必要性の低い業務の取りやめ、仕様の見直し、年間点検からスポット点検への移行、競争入札への移行、予定価格の見直しにより、28年度決算額から約4,500万円の削減を行った。

(4) 医療安全管理体制第三者検証委員会の報告書について

27年4月から6月の心臓血管外科手術後に死亡事案が続いたことから 日本心臓血管外科学会の外部調査委員会を設置し、28年5月に調査報告書が提出された。28年7月からこの報告書の提言における医療安全管理体制の向上と再発防止を図るために「医療安全管理体制第三者検証委員会」が開催され、29年6月に報告書が提出された。

報告書の提出を受け、医療安全管理体制第三者検証委員会による記者会見（平成29年6月16日）やホームページによる公表を実施した。

なお報告書では、ガバナンスの強化、インフォームドコンセントの改善などにより病院の安全体制が整い、心臓血管外科再開に向けての基盤ができているという検証結果であった。

4 1年間の総括

病院機能の強化、施設環境の改善及び収支の改善の取り組みについては概ね計画どおりに進め、医業収支は約1億2,000円を改善、経常収支においても約8億5,800万円を改善し、約2億9,600万円の赤字額に削減することができた。（平成28年度は約11億5,400万円）

しかしながら当初目標である医業収支の約4億改善及び経常収支の赤字解消は達成することができなかった。

5 今後の目標

- ・高齢者医療の充実

高齢者医療に必要な診療科である整形外科の充実や高齢者に対する多様な症状や疾患への初期対応ができる総合医となるホスピタリストの育成を図る。

- ・施設環境の改善

病院施設の再整備を視野に入れ、費用対効果を考慮しながら施設の劣化、老朽化対策を進めていく。また病院機能強化のための施設整備を図る。

- ・収支の改善

収支の改善が最大の課題であることから、収益の改善と支出の抑制が必要となっている。

収益改善に向けて、DPC/PDSP等の統計データを分析・検証し、収益増に向けた様々な提案を行う。また、周産期・小児医療の更なる深化、高齢者医療の充実により収入の増加を図っていく。支出抑制として、経営改善支援業務委託により、更なる医療材料（診療材料、薬品）、委託費の削減、時間外勤務手当などの削減を図っていく。